

子ども子育てに係るヒアリング・アンケート調査 実施報告

I 調査の目的

1 調査概要

白井市では、子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て支援事業計画を策定にあたり、子育てに関わる事業所や団体などを対象に、教育・保育のあり方や幼保一体化に対する考え方などについて、ご意見をいただき、その内容をふまえて計画の方向性を定めていくために実施しました。

2 調査概要

対象		調査形式	調査実施日	調査対象数
児童館利用者	西白井児童館	ヒアリング形式	平成 26 年 5 月 27 日	5 人
	白井駅前児童館	ヒアリング形式	平成 26 年 5 月 27 日	8 人
地域子育て支援センター利用者	清水口保育園 (スマイル)	ヒアリング形式	平成 26 年 5 月 27 日	6 人
	南山保育園 (ふれんど)	ヒアリング形式	平成 26 年 5 月 27 日	7 人
母子保健推進委員 (※市健康課同席)		ヒアリング形式	平成 26 年 6 月 3 日	2 人
障がい児団体		アンケート調査	平成 26 年 6 月 3 日	1 団体
幼稚園・保育園		アンケート調査	平成 26 年 6 月 3 日配布	※調査中

II 調査結果

1 児童館利用者・子育て支援センター利用者【ヒアリング調査】

問1 どのような目的で施設を利用していますか？

児童館	<ul style="list-style-type: none">・サークルへの参加 (7件)・子どもの友だちづくり、交流 (7件)・子どもを遊ばせる (3件)・母親の気分転換 (2件)・母親どうしの交流、情報交換 (2件)・図書館の利用 (1件)
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none">・子どもを遊ばせる (5件)・子どもの友だちづくり、交流 (3件)・母親どうしの交流、情報交換 (3件)・先生との交流 (1件)・母親の気分転換 (1件)

問2 この施設を知った、利用しようと思ったきっかけはどのようなことですか？

児童館	<ul style="list-style-type: none">・市広報 (5件)・友人・知人の紹介 (4件)・上の子が利用していた (2件)・保健福祉センターの紹介 (1件)・市実施の検診の時に案内があった (1件)
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none">・市HP (2件)・口コミ (2件)・母子手帳発行時の案内 (1件)・通りすがりに (1件)・チラシを見て (1件)・マタニティクラスで (1件)・妊娠中の市の催し (1件)・保健福祉センターの紹介 (1件)

問3 どのくらいの頻度でこの施設に通われていますか？

児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回（サークル）のある日（4件） ・週1回（3件） ・不定期（2件） ・初めてきた（1件） ・週末のみ（雨の日など）
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・月1～2回（5件） ・週2～4回（4件） ・月1回（講座の実施時に）（1件）

問4 施設を利用して良かったと思えたことは何ですか？

児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの友だちをつくれる、交流できる（5件） ・サークル等で母親どうしのつながりができる（2件） ・部屋が広く、子どもがハイハイできる（1件） ・子育ての悩みの相談ができる（1件） ・絵本やおもちゃが沢山ある（1件） ・図書館やイベントがある（1件） ・情報を手に入れることができる（1件） ・職員が在中しているので、色々なことを教えてもらえる（1件）
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・先生に相談にのってもらえる（4件） ・母親の友達、母親どうしのつながりができる（4件） ・ストレスが解消できる（1件） ・家にはないおもちゃで、子どもが楽しく遊べる（1件） ・他の親と情報交換ができる（1件） ・同じ世代でイベントがある（1件） ・子どもが楽しそう（1件）

問5 施設を利用して改善してほしいと思うことはありますか？

児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が少ない（4件） ・施設の段差の改善（2件） ・施設の改装（2件） ・床が固い（2件） ・搾乳室の設置（1件）
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・開放時間の延長（2件） ・身体を動かすプログラムがあるとよい（1件） ・人が多い（1件） ・大きい子どもがいる（1件） ・スペースが狭い（1件） ・専用のトイレがあるとよい（1件） ・もう少し催しがあるとよい（1件） ・入口がわかりづらい（1件）

問6 (知っているれば) 子ども子育てに関することで、他市にある施設やサービスで白井市でも取り入れたほうが良いと思うものはありますか？

児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市では子どもを遊ばせる施設が多い (1件) ・船橋市で市内の体育館等で産後の母親の体操教室を実施している (1件) ・調布市にはオーディオルーム等がある施設がある (1件) ・予防接種のお知らせのハガキを出してほしい (1件) ・白井市は子育て支援サービスが充実している (4件)
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・年間通して週3回程度子どもを預けられるような施設 (1件) ・小さな子どもを遊ばせる公園 (1件) ・白井市は子育て支援サービスが充実している (2件)

問7 白井市では鎌ヶ谷市との共同により鎌ヶ谷総合病院で病後児保育を行っていることを知っていますか。また、使いたいと思いますか。

児童館	<p>【病後児保育実施の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っていた (2件) ・知らなかった (6件) <p>【今後の利用意向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的に利用したい (3件) ・保育園や幼稚園に入るようになったら使いたい (2件) ・使わせたい。自分でみるより安心である (2件) ・登録済だが、利用したことはない。空きがなく利用できなかった。(1件)
子育て支援センター	<p>【病後児保育実施の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っていた (2件) ・知らなかった (7件) <p>【今後の利用意向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的に利用したい (3件) ・働くことになれば使いたい (2件) ・保育園や幼稚園に入るようになったら使いたい (2件) ・登録済だが、利用したことはない。空きがなく利用できなかった。(1件)

問8 「子育てがしやすい白井市」となるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（子どもには、他にどのような施設・場があれば利用するか。保護者には、子育て環境をめぐる課題点、改善点など）

<p style="text-align: center;">児童館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ベリーフィールドに児童館等の施設を設置して欲しい。(ベビーカーで移動できる施設がない) (3件) ・小児科の夜間救急の実施 (2件) ・土曜、日曜保育、一時保育増やしてほしい (1件) ・0歳保育を増やしてほしい (1件) ・歩道の安全の確保 (1件) ・広報に載らないイベントもあるので、もっと情報を発信してほしい (1件) ・路上喫煙の禁止 (1件)
<p style="text-align: center;">子育て支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園が入りやすくなるとうい (2件) ・公立幼稚園の設置 (1件) ・カフェ等の飲食店の実施 (1件) ・ボールで遊ぶことができる公園 (2件) ・子どもを遊ばせながら親同士が遊ぶことができる場 (1件) ・北総線の電車代の値下げ (1件) ・駐車場問題の解消 (1件) ・医療費の無料化 (1件)

2 母子保健推進員【ヒアリング調査】

問0 推進員の方の経験年数等

- ・経験年数5年2ヶ月と4年2ヶ月の方。
- ・白井市の母子保健推進員としては、2年ごとに更新を行う。現在約30名が登録している。

問1 訪問事業の中で、お母さん方からどのような不安の声や困っていることがよくあげられますか？

- ・子育て（乳幼児）について（夜泣きが多い、体重は適正か、母乳は足りているか など）
- ・上の子の心配について（育て方、保育所に入所できるか など）

問2 下記の事業の状況と困っていることや課題と感ずることについて教えてください。

●おめでとう訪問

- ・引っ越してきたばかりで表札を掲げている世帯や地図に載っていない新しい建物が多く、訪問先を見つけるのが困難な場合がある。
- ・母親が日中働いていることが多く、電話で連絡をとることも難しくなっている。
- ・推進員の登録者を中学校区ごとに割り振っており、人が足りないところについては、別の学区から来てもらうこともあったが、登録者も増え、一人あたりの負担は減ってきている。

●健診未受診者訪問

- ・そもそも、健診にきていただけてない方の理由として、働いていて子どもを連れていく時間がない、保育園で実施しているものを受けている、長期で海外にいるため受けられないという理由がある。
- ・訪問時に不在の時でも、ポストに手紙を残す等をして、半分ぐらいは受けに来てもらうことができ、最終的に受診率はほぼ100%となっている。
- ・母親の中には話を聞いてほしいが、大人と話すことができる時間がない、友人・知人がいないと話をできていないため、訪問すると喜ばれるときがある。

●「マタニティ&ベビーサロンいっぽいっぽ」等の催し

- ・2ヶ月ごとに年6回実施しており、25～30名程度の参加者がある。対象は市内在住の生後2～4ヶ月の子どもとその親になるが、市外の方や4ヶ月以降の子どもも要望があれば受け入れており、柔軟に対応している。
- ・回数を増やしていくことは大変だが、要望があれば、検討していきたい。子育て支援センターから先生が来てくれることもあり、ノウハウの共有などを行っている。

問4 白井市が子どもを産み、育てやすいまちとなるため特にどのようなことが必要だと感じますか？

- ・保育園の預かり時間が短い、保育士の不足していることは、母親達の中から不安としてあがってくる。
- ・子どもがボールで遊ぶことができる公園が少ない、小さい公園はあるが、遊んでいる子どもはあまり見かけない。放課後の校庭の開放があってもいいのではないか。
- ・休日は市外の大型の商業施設に行き、そこで子どもを遊ばせておく親も多い。
- ・小さい子どもを対象にした遊び場が少ない。
- ・小児医療、夜間・休日医療の充実が必要である。他市の病院も車がないと行きづらい。

3 障がい児団体調査【アンケート調査】

問1 白井市の子育て支援制度やサービス、子どもたちを取り巻く環境をみて、よいと思うところや、改善すべきと思うところがあれば、お教えてください。

<よいと思うところ>

- ・支援サービスとしてはファミリーサポートセンター、児童館、子育て支援センター、子ども発達センターの充実など利用できるサービスが多いと思います。特に発達センターでの療育に使用する教材はとても豊富でわざわざ発達センターの療育を受けたい為に他市から引越してくる人もいる程です。
- ・障がいがあっても、センターやデイサービスで、とてもよくみてもらっています。
- ・子ども発達センターの内容が充実している。
- ・白井子ども発達センターの先生方のレベルの高さ、療育の質の良さが素晴らしいと感じています。障がい児の親である私にとって、発達センターとの繋がりが今一番の心の支えとなっていますし、息子の今の成長はセンターでの治療のおかげだと強く感謝しています。
- ・市の職員の方々全般、として親切・丁寧に接してくれる
- ・自然がいっぱいの中で子育てができる。
- ・子ども発達センターの設置。

<改善すべきと思うところ>

- ・利用できるサービスは多いのですが、実際障がい児が利用できるのかというと、まだまだ難しい所があります。ファミリーサポートを利用したいと思っても受けてくれる会員さんがいるのか？児童館で障がい児向けのイベントをやってくれるのか？また、発達センターについては、年齢が上がるたびに療育日が少なくなります。利用人数が増えているのですからもっと教職員、先生を増やして就学後も長い目で手厚い療育をしてほしいです。
- ・支援制度やサービスなど、理解できてないのも多いので教えてもらえる機会。
- ・児童館の設備があまりよくない。保育園が少ない。
- ・未就学児に対して、発達センター以外の療育環境、就園への支援を考慮して頂きたいです。就園の年になった時、息子は障がいにより市内全ての私立幼稚園から入園を拒まれ、保育園も待機。就園に至るまで、とても辛い思いをしました。障がい児を対象とした毎日通所できるような機関（障がい児の幼稚園みたいなもの）があると、とても心強いです。または、公立幼稚園をつかって頂き、障がい児の受け入れを可能にして頂くか、私立幼稚園に対して就園できるようサポートして頂くなどの体制が無いと、今後も辛い思いをする障がい児の親。そしてなかなか就園出来ない障がい児が後を絶たないと思います。
- ・制度の種類や受け方がわかりづらい。受ける事の出来る制度が有ったとしてもそこに辿り着きづらい。
- ・障がいのある子どもが保育園や幼稚園に入園するのが大変。学校(支援学校の高等部など)を卒業した後、地域で生活できる場所の不安。施設や作業所グループホームなどもっと増えて欲しいが、親が立ち上げるしかないのが現状。
- ・保育園・幼稚園への障がい児の入園が難しくなかなか許可がおりなかった。

問2 日ごろの活動を通じて、保護者の方から寄せられる要望や意見はどのようなことが多いですか。

<市行政や子育てをめぐる環境全般について>

- ・放課後等デイサービスを利用しているのですが、利用者負担額が所得によって違います。障がい児に対しては、所得制限で負担額を決めるのはいいのではないのでしょうか？ みんな預ける所がなく、条件は一緒なので一律の負担額にしてほしい。また、負担額の段階の区切りが大きすぎます。
- ・学校の児童数が多い、少ないなど。
- ・教育関係者の方々にもう少し障がいについて、また、障がい児・障がい児をもつ家族について、親身に考え、ご理解頂けると心強いです。
- ・就園、就学のラインに来た時、各園や学校の障がい者に対する窓口の広さ。(特に園)
- ・子どもの数の増減に環境整備がおいついていない。環境が整う前に子どもが卒業してしまう。

<障がい児施策に対して>

- ・発達センターの先生の不足、行く回数が少ない利用者が増えているので、施設を大きくしてほしい。
- ・センターも人数が増えて、もっと見てもらったり活動させてほしいなど
- ・保育園や幼稚園で先生にもっと障がいについての知識を身につけてもらいたい。
- ・就学児の放課後支援のようなサービスが、未就学児には無いので、未就学児も受けられるような保育サービス、日中の活動支援などが欲しい。・就学後、発達センターの通所回数がめっきり減ってしまうのが不安。もっと通いたい。
- ・就学、義務教育に向けもっと障がい児を受け入れる場が増えると保護者の心労が軽減されるかと……。市立幼稚園やこども発達センター拡大など。
- ・発達センターの先生方は頑張ってくださっているが、そのセンターをもう少しフォローする体制は取れないのかと感じる。現場の意見をもっと組織に活用してほしい。

問3 ふだん、障がいに関する事で悩みがある場合、どのような対応をとられることが多いですか。また、対応をとる際に困っていることはありますか。それぞれのケースでお答えください。

<福祉や保育に関する事で>

- ・幼稚園の先生には、保育でしてほしい事を伝えている。園でも、いろんな先生に障がいがあることを理解してほしい。
- ・社会福祉課の職員さんに相談します。
- ・日常の子育てに行き詰まり、疲れたときに気楽に相談、手助けを求める場がない、またはわからない。
- ・窓口（福祉課）に行くが何回も行かないと話しが通じないことが多い。

<医療に関する事で>

- ・障がい児をキチンと見てくれる所が少ない。病院を探すのが一苦労、電話で聞いたりするのですが、看板などに障がい児診察してますみたいな案内があると助かります。小児神経の先生がいないので他市の病院まで行っている。小児科もまだ少ない。
- ・発達センターの先生に相談して、病院などを教えてもらっている。病院は予約を取ったり、遠くまで行く事になる。
- ・受診時に配慮してくれる病院が増えた。
- ・発達外来、心理発達相談のかかりつけの先生に相談します。患者さんが多く、予約が取りにくくなったり、予約を取っても待ち時間が長くて、子どもが大荒れしてしまいます。
- ・白井市に小児神経医がほしい。離れた病院に行かなければならない。
- ・かかりつけ医。

<学校・教育に関する事で>

- ・未就園児の受入は問題で障がい児には加配をつける事が多く保育園の待機まちをして順番がきていても加配がないため、ふつうの子達が先に入園してしまう。また、幼稚園も障がいがある事を言うとその場で断る幼稚園もまだあり入りづらい所があります。
- ・発達センターの先生や支援学校の先生に相談しやすい。
- ・就学も控えているので、教育委員会の先生に今後相談することになっていると思っています。
- ・グレーゾーンのこの行き場に困る
- ・学校の担任、教頭や校長とまずは相談、その上で学校教育課へ相談。
- ・特別支援学校までとても遠く、通っている子どもも負担が多い。入学を躊躇してしまう方もいる。もっと近い学校が設置されるといいです。

<その他生活全般で>

- ・障がい児は小さい2・3歳～幼稚園くらいの子にとっては遊び相手が母親だけという場合も多く親が常に子どもについていないとだめです。小学校～は放課後デイサービスがありますが未就学児のデイサービスもあつたら子どもを預けて自分の用事をすませられるのに…と言っていました。
- ・発達センターの先生に相談する事が多いです。
- ・発達センターの先生にその都度相談します。息子の事をよく知って下さる先生ばかりなので、とても心強いです。
- ・児童デイや学校と家庭で連絡をとりつつ相談していく。

問4 白井市で子育てをするうえで、どのような情報が必要ですか。特に、現在不足していると考えer情報がありましたらお書きください。

- ・障がい児もキチンと見てくれる、医院の一覧表。
- ・障がい児も預かってくれる所の紹介。
- ・障がい児も楽しめるイベントの紹介。
- ・わからないサービスがいっぱいある。(知らない) 特に障がい児に使えるサービスなど、友人から知ったりする事が多い。(発達センターで、説明会などしてほしい)
- ・子どもは我孫子特支に通っていてひとりっ子です。そのため白井市の子に来る学校を通してのお知らせ(イベントやふしん者情報など)を受けとれないことがある。学校だけでなく家庭へ直接連絡が来るシステムがほしい。
- ・特に思い当たりません。
- ・全般的に自分から情報を取りに行けば、丁寧に教えてくれる。もっと開示・掲示の場が多いとうれしい。
- ・支援級の保護者に義務教育卒業後の進路の情報がなかなか入らないと感じます。

問5 白井市の子ども子育ての環境を充実させるために、現在不足していると感じるサービス・事業がありましたらお書きください。

- ・市で年齢、障がいの程度、関係ない親の交流の場を作ってほしい。自分の子どもはまだ小さいけどこの先どうやって過ごしていくのか?先々の直面する問題などいろいろな話を聞いてみたい。センターに通っている親の集まりはあるが行っていないで障がい児を育てている人の話などをききたい。
- ・放課後等デイサービス、日中一時など。
- ・障がい児とふつうの子の交流を積極的に行ってほしい。我孫子特支では近隣の学校の子が授業で交流に来たり、行ったりしている。小学生の間に一度でも支援学校を訪問してもらいたい。
- ・また支援級の先生と我孫子特支の先生もよく異動で入れかわっている。白井の支援級の先生も特支へ行って勉強してもらいたい。
- ・一時保育のようなサービスで、障がい児でも気兼ね無く預けられるような場所が欲しいです。兄弟の出産や、家庭の事情などで子どもを預けたい時があっても、預けられる場所が無いので悩みです。
- ・療育環境に限られている。また、限られた環境に増加する利用者で希望通りにならない。
- ・発達センターの今担当してくれている事業が、もう定員を超えているのもう少しセンターのフォローをしていただけたらと思います。

4 各種事業所【アンケート調査】

※現在集計中